



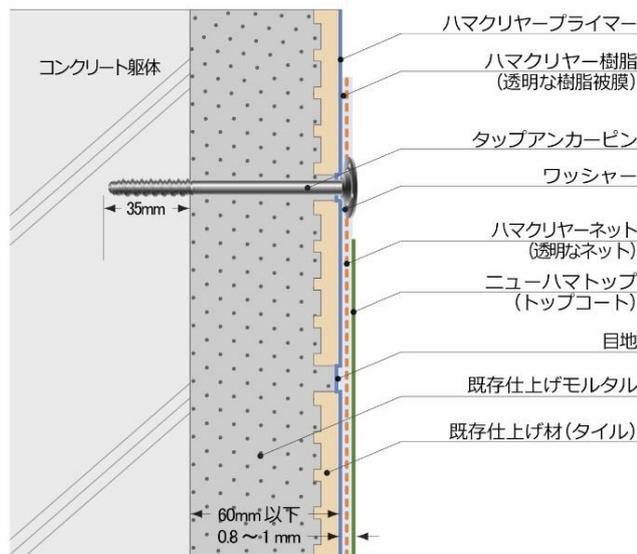
[審査証明番号/有効期限]	BCJ-審査証明-188/2021年7月24日
[技術の名称]	建築物の外壁補修技術「ハマキャスト・クリヤーネットアンカー工法」
[依頼者(審査証明取得者)]	株式会社 ハマキャスト

[技術概要]

建築物の高さ 45m 以下のコンクリート躯体を下地とする既設タイル面を撤去せずに、その上から透明なアクリルシリコン系樹脂と透明なネットからなる、タイルの色調が透視できる新規クリヤー補修層を構築、アンカーピンで既設タイル面を躯体に固定し、タイルの脱落を防止する外壁補修技術である。

本工法は既設タイル面の色調を生かし、タイルのイメージを変えることがなく、また、タイルをはつり取る工法に比べ廃材の発生が少なく、環境に優しい工法でタイルの脱落防止ができる。

[工法概念図]



[適用対象]

建築物のコンクリート躯体を下地とする既存タイル仕上げ層が経年劣化した場合に、その劣化したタイル仕上げ層に対して、本工法により新規クリヤー補修層を構築する補強改修工事に適用する。

施工部位は、一般外壁、内壁、バルコニー、パラペット、軒裏等に適用できる。

本工法を適用して補修する既存タイル仕上げ層の種類は次の通りである。

- ①コンクリート+直張り陶磁器タイル
- ②コンクリート+モルタル+陶磁器タイル

[開発の趣旨]

過去に建設されたビルやマンションの壁面において、磁器タイルが多数使用されているが、これらのタイル壁面の劣化による剥離・脱落により、車の破損や人身事故等の危険な状態が発生している。

本工法は、このような問題を解消できるタイル壁面の改修工法として、かつ既設タイルのイメージを残し、タイルの色調を生かせる工法として開発した。

[開発目標および審査証明結果]

本技術について、前記の開発の趣旨、開発目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 新規クリヤー補修層は、既設タイル面に対して付着強さが 0.4N/mm² 以上であると判断される。
- (2) 高さ 45m 以下の建築物の既設タイル面に被覆した新規クリヤー補修層からなる複合補修層をアンカーピンで躯体に固定することによって、複合補修層が風荷重や地震荷重によって脱落するのを防止するものであると判断される。
- (3) 新規クリヤー補修層は、温冷繰り返しにより付着強さが低下したり、ひび割れが生じたりしないものと判断される。
- (4) 安定した品質・性能を確保するために、適切な施工体制および施工マニュアルを確立しているものと判断される。

[本技術の問い合わせ先]

企業名 株式会社ハマキャスト
 部署名 技術部
 担当者名 秦 義一
 TEL : 06-6311-6888 FAX : 06-6311-5455
 技術紹介サイト <http://www.hamacast.co.jp>